

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公開番号】特開 2002-11980 (P2002-11980A)  
【公開日】平成 14 年 1 月 15 日 (2002.1.15)  
【出願番号】特願 2000-193758 (P2000-193758)  
【国際特許分類】

**B 4 2 D 15/04 (2006.01)**

【F I】

B 4 2 D 15/04 F  
B 4 2 D 15/04 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 4 日 (2007.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】連続帳票及びその使用方法、帳票

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続され、流れ方向に複数ページ連続する連続帳票において、

先頭側の 1 ページ目には、前記薄手帳票部のみ備えること、  
を特徴とする連続帳票。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の連続帳票において、  
前記薄手帳票部は、前記先頭側の 1 ページ目と 2 ページ目とを折り合わせてあること、  
を特徴とする連続帳票。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の連続帳票において、  
前記薄手帳票部は、前記先頭側の 1 ページ目と 2 ページ目とを折り合わせた状態で、接着又は擬似接着してあること、  
を特徴とする連続帳票。

【請求項 4】 厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続され、流れ方向に複数ページ連続する連続帳票において、  
前記薄手帳票部の先頭側の 1 ページ目に設けられ、前記厚手帳票部との厚み差を調整する厚み調整部材を備えること、  
を特徴とする連続帳票。

【請求項 5】 厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続され、流れ方向に複数ページ連続する連続帳票の使用方法において、  
前記厚手帳票部の先頭側の 1 ページ目を除去し、前記薄手帳票部の先頭側の 1 ページ目を 2 ページ目に重ね合わせて、プリンタにセッティングすること、  
を特徴とする連続帳票の使用方法。

【請求項 6】 厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続され、流れ方向に複数ページ連続する連続帳票であって、先頭側の 1 ページ目には、前記薄手帳票部のみ

備える連続帳票の使用方法において、

前記薄手帳票部の先頭側の１ページ目を２ページ目に重ね合わせて、プリンタにセッティングすること、

を特徴とする連続帳票の使用方法。

【請求項７】 厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続された帳票において、

前記薄手帳票部に設けられ、前記厚手帳票部との厚み差を調整する厚み調整部材を備えること、

を特徴とする帳票。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、重ね合せ片等によって幅方向で厚み差のある連続帳票及びその使用方法、帳票に関するものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

本発明の目的は、幅方向に厚み差のある連続帳票のメリットを最大限に生かしながら、これらの課題を解決して、オートロード適性に優れた連続帳票及びその使用方法、帳票を提供し、良好な印字業務を構築することである。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

請求項６の発明は、厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続され、流れ方向に複数ページ連続する連続帳票であって、先頭側の１ページ目には、前記薄手帳票部のみ備える連続帳票の使用方法において、前記薄手帳票部の先頭側の１ページ目を２ページ目に重ね合わせて、プリンタにセッティングすること、を特徴とする連続帳票の使用方法である。

請求項７の発明は、厚みが異なる厚手帳票部と薄手帳票部とが幅方向に接続された帳票において、前記薄手帳票部に設けられ、前記厚手帳票部との厚み差を調整する厚み調整部材を備えること、を特徴とする帳票である。